



すみません  
本当に…



…はい  
はい…  
編集長…



…ごめん  
泉水

僕  
どうやら  
ホテルに  
缶詰にな  
らしい…

ク  
ッ

自分にとって

作家人生を  
賭けた  
正念場の  
大事な作品なのに

すんぐん

編集者さんを  
困らせるほど  
締切間際迄  
追い詰められるまで  
書き切れないなんて

本当に  
情けない…  
だよ作家失格

#3/11

陣内家夫  
要平(28)  
小説・  
脚本家

陣内家妻  
専業主婦  
泉水(29)

…うん…

…

そんな作品  
だからこそ  
苦勞して頑張って  
きたんじゃない

もうひと踏ん張りの  
ところまで  
出来てるんでしょ

それに…

かえって  
良かった

前に話してた  
私の  
旅行  
サークルの

断る理由が  
出来た

ほんっ

私無理に  
誘われない  
だけで

これならぎつと  
向こうも  
諦めが  
つくもの



いや  
いつておいでよ

僕の都合で  
キミが割を食う  
ことは無い

だって…  
翔はどうするの

お互いじゃ  
ないのよ

僕の実家を  
頼ってくれないかば

父さんも母さんも  
孫の世話をしたくて  
仕方ないんだから

うん…

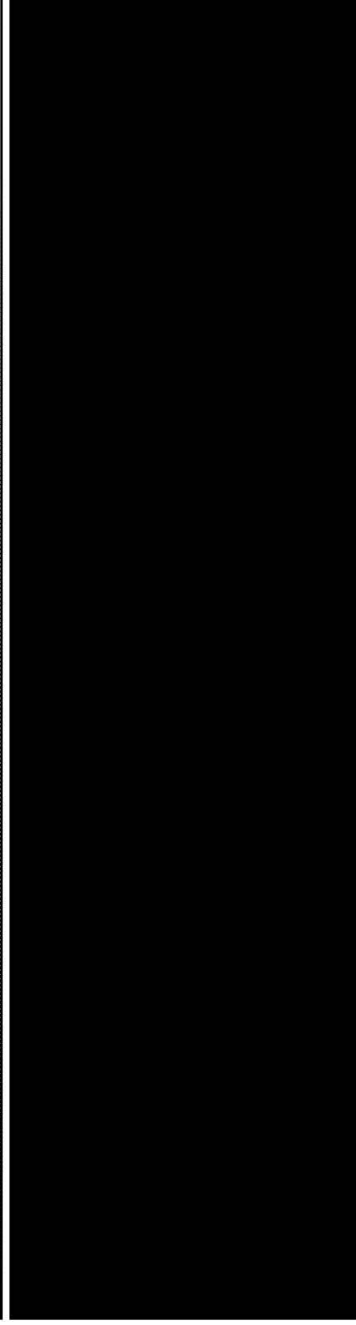
こんな時くらい  
甘えてよ

もともと  
子育てを  
一段落させた

キミの  
息抜きのために  
参加した  
サークル活動  
なんだから

思う存分  
羽を伸ばして  
おいで





おは



さん

あ  
……  
……



では  
よろしく  
お願いします……

はい

はい  
頑張ります

はい  
はい  
そうです

# 妻の帰りが遅い理由

eroamazon



いやあ



…そうですね…



館城充(48)  
妻子あり  
泉水の  
サークル仲間



流石に  
ここ迄来ると  
風が  
肌寒いね





始めはもっと  
驚いたけれど  
最早彼のハ  
ラは日常茶  
飯事だ

虫が居たので  
こりゃ失礼

ハイッあ  
ッハッハ

あ…  
ご親切  
だったのに  
すみません…

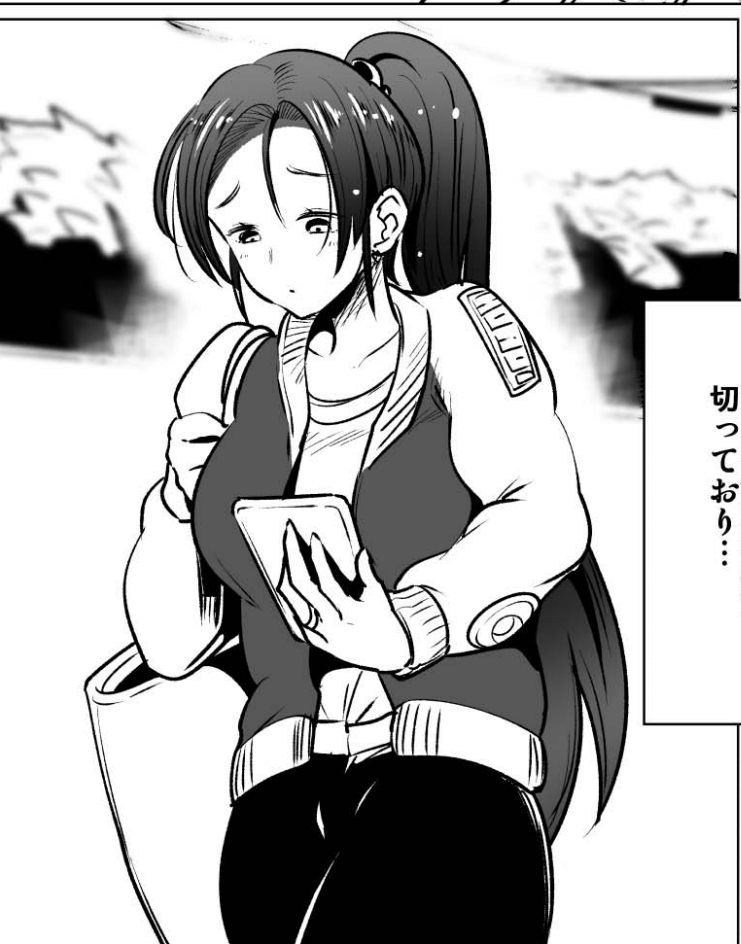
ハッハッハ



参加予定だった  
2名の老夫婦が  
土壇場になつて  
キャンセルしたのだ



勿論今回の旅行が  
彼と  
2人きりだなんて  
予定外の単なる  
アクシデントに  
過ぎない



仕事の為だろう  
夫は電話の電源を  
切っており…



流石に怖くなって  
あの人に  
連絡もしたが



自分たちも  
キャンセル料を  
取られるとか  
自分の名前で  
予約しているし  
非常識な真似は  
嫌だとか…

結局は  
彼に言いくるめ  
られて  
ここ迄  
来てしまった

…誰に対しても  
流されやすい  
自分になる  
嫌になる

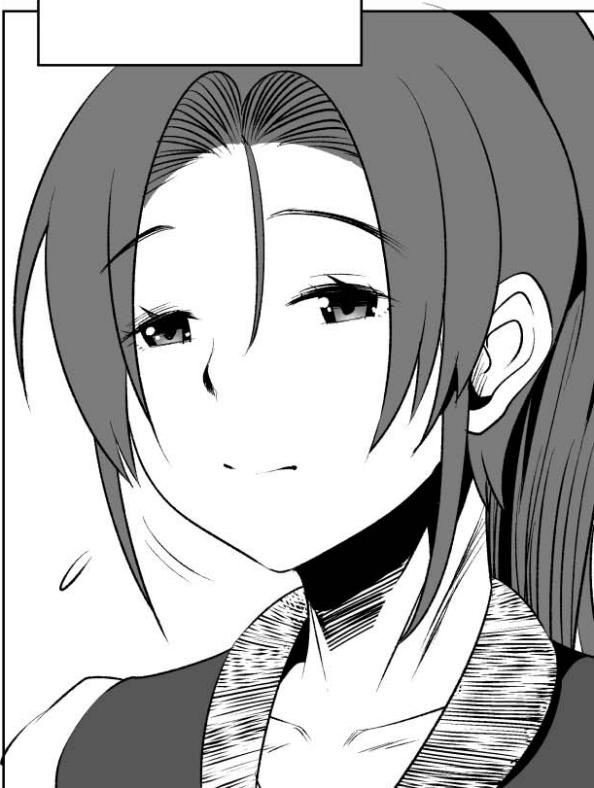
…それでも  
私をあそこで  
自分で判断して  
帰る選択もできた  
その筈だった  
しかし…



：私は日頃から  
こんな風に

自分でも  
情けなくなるほど  
気苦労を一人で  
背負い込む癖がある

夫を献身的に  
支えるのは苦労だとは  
思わない：  
けれど少し疲れても  
自分が居るのも確かだ



：やましい事が  
無ければ良い  
：そもそも  
そんな事  
ある訳が無い



たゆッ

私にも  
館城さん  
家族が居る  
漫画や昼  
下ラじゃ  
ないんだから

そうそう  
おかしな事は  
起こらない



シ...

私が  
立ち止まって  
居ても  
居なくても

夫の助けには  
ならない

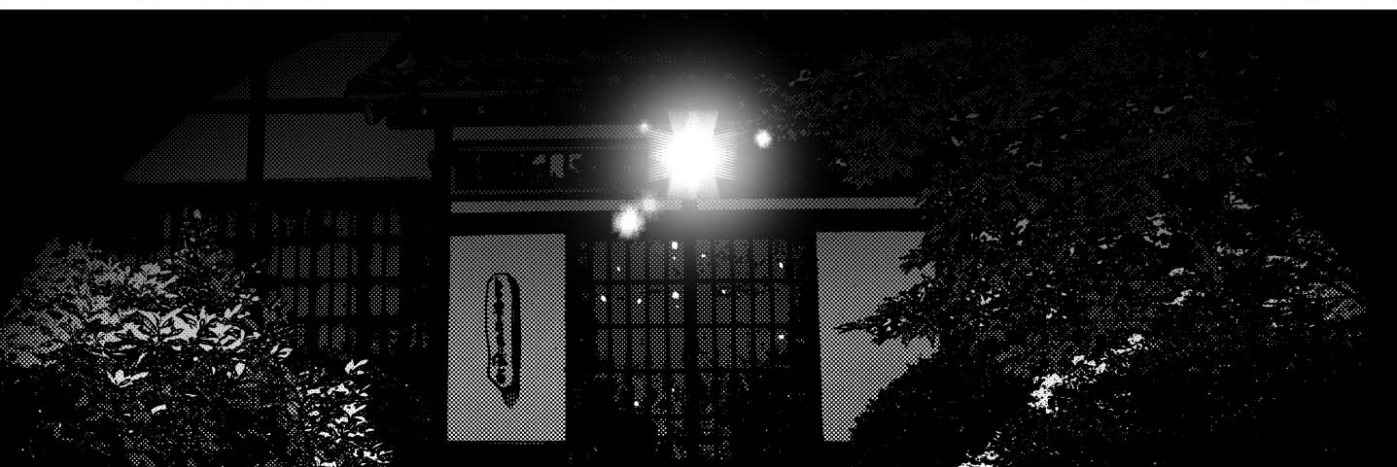
それにく  
せつかく  
誘ってもらえた  
機会だ

夫の言う通り  
たまには  
思う存分  
心の底から

磐温泉

佐十

羽根を  
伸ばして  
みよう



なんで

は♡

くちゅ

奥さん

なんで

は♡

そんな固く  
ならないで

てすー...

げろろ

真っ赤になった  
奥さんも  
また綺麗だなア...

てすー...

げろろ

なんで  
こんな事  
なってる  
のお...

は♡

てすー...

やんや

やんや

てすー...





まあまあ奥さん

私、そんなに強くないので…

でも  
乾杯の  
一杯だけ  
なんて

せつかくの  
温泉旅館  
なんだから

たまには  
羽目を外しま  
しょうよ

身体に…  
力が…

うう…  
うう…

ええ…  
ええ…

うう…

びしょ

私いつの間にか  
気を失って…

びしょ

だめです館城さんッ  
指を止めてっ…  
私には…大事な  
家族が…

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

今、ここには

僕と貴方しか  
いませんよ

あゝ  
あゝ  
なんて事っ…  
あゝ

びしょ

びしょ

びしょ



他人の妻だろうが  
何だろうが  
知ったことじゃ  
無い

そういう男と

そんなのを  
相手にして  
こんなにも  
濡れそぼった  
いやらしい穴の  
持ち主

ここには  
異常者しか  
いない

やあああ……!

ダメ

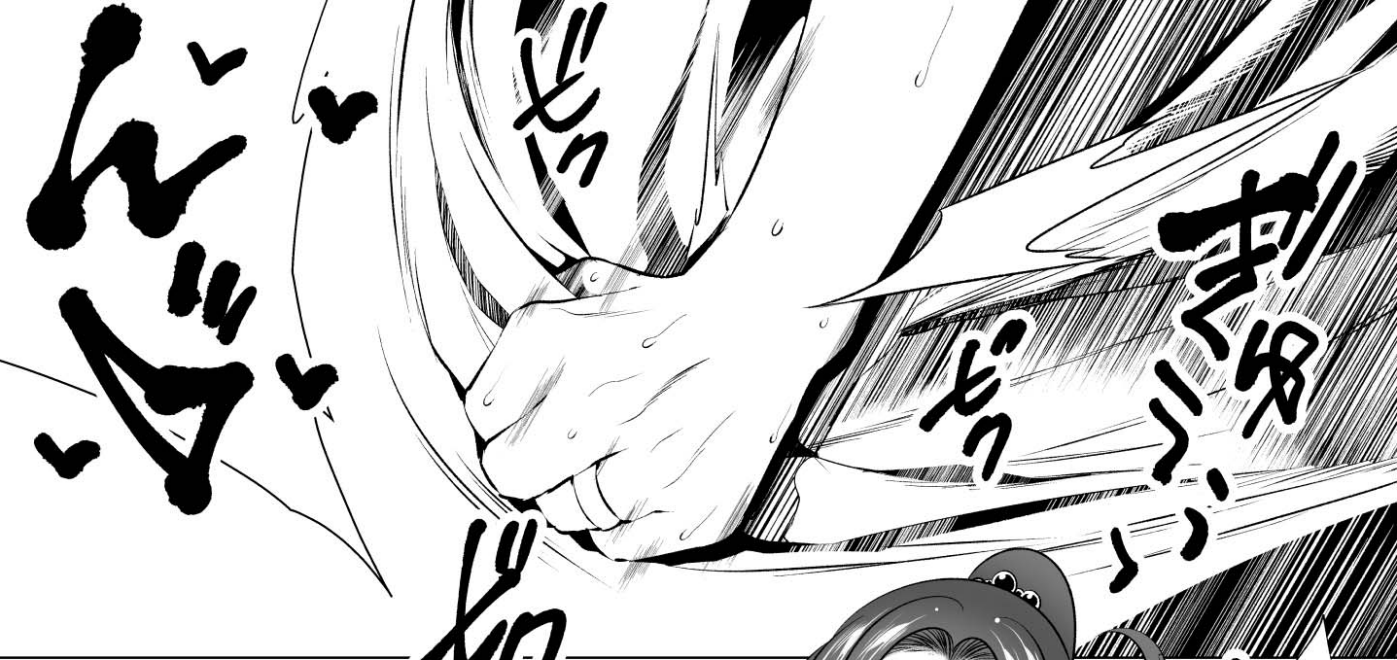
こんなに

こんなに  
しつこくて

長い  
いじり方







…愛らしい…  
鳴き声だ

感じやすいんだね  
泉水さん

わ  
私…♡

敏感なのは  
酔ってるつても  
あるのかな？

あーっ  
あーっ  
あーっ

うそ

いつちやった

こんなにあっさり

あの人とじゃ

夫との  
行為じゃ

私

私っ



まだ  
イった事なんて  
一度も...



まだ  
強張ってる

身も心も

あの  
館城さんっ

あっ

くちゅ♡

いっ…  
イっちゃったん…  
ですっ

ほっ♡  
その…  
ほっ♡

ほっ♡  
館城さん

ほっ♡  
館城さん

ほっ♡

お♡

もう…  
もう…  
イっちゃった  
後だからっ♡

お♡

はー♡

くちゅ♡

くちゅ♡

あっ…

敏感なん  
です♡

男の人にイカ  
されたの  
初めて  
なんです…♡

はー♡

はー♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

くちゅ♡

そんなの  
ウチのヒトは  
してくれないん  
ですううう♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡